

女性起業家等（鹿屋女子高総合選択制講師）との“本気”で語ろう会

団体名	鹿屋女子高総合選択制講師
日 時	令和3年11月11日（木）18時30分から20時00分まで
場 所	鹿屋女子高校 なのはなホール
参加者	上玉利亜紀、川井田絵美、節賀智恵、水口麻美、盛永小百合 市長、川越教育総務課長、久木田教育改革係長、柳沼、芝主幹（政策）

【参加者意見】

○総合選択制の授業を実施してみたの所感

- ・総合選択制については科の枠を越えて、自分の興味のある分野を選べるので良いと思う。
- ・いろんな職の方々から話を聞けるのは良いと思う。自分の時代にもあってほしかったと感じる。
- ・授業を実施した心理テストでは将来に不安を抱える子が多かった。キャリア教育という意味では、将来の見通しを立てられる取組があればよいと感じた。
- ・知らない生徒同士が一緒になるため、気まずい感じや反応が薄い印象であった。
- ・生徒の反応が薄く、自分の授業があっているか不安に感じた。
- ・保育士不足となっており、多くの人に保育士に興味を持ってもらいたい、目指してほしいと思いながら授業を実施した。
- ・介護の分野においても人手不足となっており、ちょっとでも良いイメージや興味をもってもらえるようにという思いで実施した。介護の職に対して大変というイメージをもっていた。介護の実習を行ってから反応が変わったと感じた。授業後に生徒さんから手紙をもらって励みになった。施設での実習では高齢者も若い世代とふれあえて嬉しそうにしていた。
- ・職業紹介やキャリア形成について聞く機会は、3年生が対象では既に進路を決めている学生が多いため、1・2年生の早い段階から取組をした方が良いと思う。

○新しくなった女子高校舎について

- ・校舎が変わったことでみんなイキイキしてみえる。
- ・旧校舎は古くて怖いイメージがあった。新校舎は中学生に響くと思う。

○女性が輝く町にするために求められること

- ・鹿屋は女性の起業家が多い印象で、何かしたいと思っている人が多いと感じる。地元の人たちが活躍できる場所や施設があると良い。
- ・介護、保育の分野は女性が多く働いている。同時に家庭では結婚、出産、子育て、介護と女性が担う部分が多くあり、働く際にはこうしたことの影響が強い。それぞれの年代で働けるような仕組みがあればと思う。
- ・SNS等は普及しているが、外部の方が知るきっかけが少ないと思う。
- ・おおすみ女子会というイベントがある。つながりが持てれば帰りたいと思う。
- ・学生のときは「鹿屋には何もなく、とにかく出たい」という意識があった。若い時のイメージが大事だと思う。
- ・子育てで楽しい場所があるとよい。
- ・鹿屋を好きになることが必要。

- ・自己肯定感を高める教育が必要だと思う。自分の存在価値を高めることでどこでも輝くことができる。

○KITADA SARUGGA について

- ・他県から来られた方には勧める。
- ・内容がいろいろと変化して良い。
- ・駐車場が不便で、周りに行くところもないため、そこだけを目指してはなかなか行かない。
- ・ターゲットが絞られてない。

○リナシティかのやについて

- ・駐車場の不便さはあるが、バリアフリーでイベントの利用には良い。
- ・人が集えるお店や回れるお店がない。スターバックスのようなお店があれば良いと思う。
- ・上映される映画が遅れている。
- ・芸術や様々な文化にふれあう機会が鹿屋では少ないため、そうした機能を付加したら良い。
- ・イオンモールのようになれば良いと思う。

【市長】

- ・校舎が新しくきれいなため、イメージが良くなったという声を聞く。それに加えて、教育内容等も充実させていかなければならないと考えている。
- ・総合選択制は学科を越えて授業を受けられるのが大きな特徴である。初めての生徒同士で、気まずさもあると思うが、集団で行動する上で勉強になると考える。
- ・総合選択制講師同士がふれあう機会を設けてはどうか。
- ・「鹿屋に帰ってくる」というテーマは大きいため、それらをより具体化した課題として挙げ、それに対して我々は何をするかを明確にしていきたい。
- ・鹿屋にある企業においては、鹿屋にいて鹿屋の仕事を受けるだけではなく、鹿屋にいて東京や県外の仕事をぜひ取ってきてほしいと考える。
- ・地元愛の醸成という部分では寺子屋での事業を展開しており、地域で子どもに学んでもらう取組を実施している。地域で子どもを育てるというような意識の醸成が必要と考える。また、鹿屋の偉人について知ってもらう、伝えるということで誇りを持ってもらうことにつながると考えている。
- ・KITADA SARUGGA については、起業家に向けてのステップと考えている。コンセプトなどを明示しなければならない。
- ・リナシティについては、多くの機能が備わっているが、詰め込み過ぎている感じがある。
- ・イオンがあればという声はよく言われる。しかしながら、イオンは基本的には市外の店舗が参入しているため、他がつぶれてしまう懸念がある。地元の小さな店舗を大事にしていかなければならない。
- ・鹿屋が全ての機能を持つ必要はないと考えている。各市町における機能を分けて、鹿屋でできることのすみ分けが必要である。大隅において、鹿屋の周りの市町が鹿屋にいけば、ある程度満たされる機能を持たせたい。